

# 功労賞に3人・2グループ決まる

グループ〈わ〉のボランティア活動に貢献のあった個人・団体を顕彰する26年度の功労賞は、別表の通り会員3・団体2グループに決定。5月15日の総会で表彰式が行われます。（広報・南形徹）

## 【功労会員】

増金スミ子(福11)=大道芸で慰問活動10年  
松村尚雄(国11)=中国健康体操の普及  
菅田忠志(生11)=ウォーキングで地域貢献

## 【功労グループ】

楽遊クラブ銀雅=銭太鼓演奏で施設訪問  
さおり・たまも=施設でさおり織作品製作

26年度の功労賞は、3月5日までに区会・部会・個人から推薦のあった会員5人・団体3グループを対象に選考が行われました。3月25日の運営委員会で理事と運営委員（計33人）が投票。その後、活動歴や活動内容の審査を経て、4月8日の理事会で正式に決まったものです。有権者は理事・区会長・部長ら計36人で、棄権・欠席は3人。表彰制度は、23年度から始まったもので5回目。これまで個人15人、団体12グループが受賞しています。

## 施設訪問や地域での健康体操

### 【表彰会員・団体の活動内容】（敬称略）

●増金スミ子（西区会） 高齢者見守り訪問、学習支援活動、自宅を開放しての”ふれあい喫茶”などを実践しているほか、在学中に大道芸のサークル「一寸奉仕」を結成。10年にわたって各施設でボランティア活動を続けている。東北支援でも1～4次チームの一員として質の高い面白い芸を披露、被災者や子供たちに喜ばれた。県や市からも数多くの感謝状を贈られている。

●松村尚雄（長田区会） KSC在学中の平成17年、太極拳同好会を結成。卒業後は中国健康体操の普及をめざし、たんぼぼの家・観音山公園（長田区）・川崎病院などで市民や〈わ〉会員の健康づくりに貢献している。中国体操は呼吸法とストレッチを取り入れ楽曲に合わせて動く体操で、観音山公園ではすでに8年間もつづいている。

●菅田忠志（須磨区会）地域の活動グループKSC友が丘クラブを拠点に、須磨区会・自治会などと協働で講習会・子供の見守り・見学会などを実施。恐竜化石発掘などユニークな企画が好評で参加者も多い。特に平成21年から始めた月例の健康ウォーキングは、地域住民に支持され50回に達した。区会・地域に限らず一般市民にも参加を呼び掛ける活動を基本方針にしている。

●楽遊クラブ銀雅（重松豊彦代表） 平成12年にKSC卒業生で「銀雅」を結成。以後、13年にわたって高齢者施設・小学校・児童館などへ出かけ、年間100回程度のボランティア活動を続けている。レパートリーは、民謡・演歌・童謡・アニメと幅広い。伝統芸能の啓蒙のため、神戸まつり・地域イベントにも積極的に参加、児童館などで指導もしている。銭太鼓グループを集めての「100人打ち」は今や名物になっている。

●さおり・たまも（永井照子代表） 市総合療育センター・たまも園（長田区）で、園生が織った〈さおり織〉を使って、ポーチ・トートバッグ・ペンケースなどの製作を続け12年になる。平成13年にグループ結成。毎月1回、5～10人が園に集まり、ほぼ1日ばかりで生地を裁断して仕上げている。作品は好評で、カレッジの学園祭、園のバザン製一などで販売している。

●【推薦のあった他の個人・団体】 杉本敦子（音6・灘区会）、田辺卓弥（音6・東灘区会）、コロむつみ

## 5月15日に[わ]総会

NPO法人グループ〈わ〉は26年度総会を5月15日（木）にカレッジホールで開催します。多くの皆さまの出席をお願いします。

午前10時から総会。昼食をはさんで、午後は功労会員表彰式と映画会があります。映画は『男はつらいよ・寅次郎紅の花』（平成7年）。寅さんが阪神淡路大震災の被災地、長田を訪れるシリーズ最終作。マドンナ役は浅丘ルリ子。

## カレッジに桜植樹24本

開校20周年の寄付金で購入したエドヒガンサクラの植樹が2月初めまでに終了しました。カレッジキャンパスに24本、神港園など村内6施設に1本ずつの計30本。費用は91万円。寄付金は約300万円が集まっており、残りは「散水栓設置やパソコンなどOA機器の更新に充てたい」（事務局）ということです。

4月初めには、苗木数本から花がちらほら顔をのぞかせていました（1面に写真）。水やりなど今後の手入れは、グループ〈わ〉が、この4月から、2年間引き受けることになりました。夏場は週3回程度の作業になるため、北区会などの協力でチームをつくり実施します。